

看護学領域	地域健康推進学特別研究		10	吉田 教授	地域健康推進学に関する研究課題を設定し、研究計画の立案、データ収集と分析、研究論文の作成を指導する。研究課題としては、ヘルスプロモーション・健康教育、公衆衛生看護活動、地域保健福祉活動に関するものを主に扱う。
	国際看護学特論	2		森 教授	国際看護の概念をふまえて、看護に影響を与える様々な要因について分析し、開発途上国における国際看護協力および日本国内における在日外国人に対する看護の方法、国際看護協力の評価方法、および災害看護について教授する。
	国際看護学演習		2	森 教授	国際看護学・国際保健学に関する文献を講読し、世界的視野から看護の現状を考え、国際看護協力における今後の課題について議論するとともに、実践例を通して国際看護協力の方法論を探究する。
	国際看護学特別研究		10	森 教授	国際看護活動、国際看護協力、諸外国の看護制度・看護教育制度などに関する研究課題を設定して研究計画の立案、データ収集と分析・研究論文の作成を指導する。 開発途上国における看護の技術協力に関する課題、技術協力手法、国際看護協力に従事する看護職に対する教育プログラムの開発、看護基礎教育における国際看護学の方法、諸外国の看護制度や看護教育制度、在日外国人や在外邦人に対する看護に関する課題について指導する。
	看護学特別セミナー	2		看護学領域教務委員	看護学分野から当該領域の最新の研究を紹介し、看護の動向、進展状態を把握させ、看護学分野における新たな研究の進め方を学生とともに思考する。
生体情報検査科学領域	生体防御学特論	2		(教員選考中) 時田 助教	<p>現在、人類の年間死亡原因の約3分の1は感染症である。再興感染症の増加、新興感染症・薬剤耐性菌の出現、並びに国際感染症侵入の可能性の増大と、感染症対策は現在重要な医療課題のひとつとなっている。感染症発症には、病原体側の病原因子が重要であることは言うまでもないが、宿主側の防御因子も重要な発症決定因子となることから、病原体側並びに宿主側の両方向から感染症を考えることが必要である。本特論では、病原体側の病原因子並びに宿主側の防御因子のうち、特に重要と思われるものについて論述し、感染症の重要性を認識すると共に、複雑かつ巧妙な免疫機構を理解し、免疫学的観点から病態を解析・研究出来る人材を育成する。 (オムニバス方式) (教員選考中)</p> <p>(時田助教) これまで感染症をはじめとした様々な外的要因への生体防御機構に関わる物質として種々の物質が分離・同定されてきた。本講義では種々の物質の中でも8-nitro cGMPといった親電子シグナル伝達物質やそれに続くエフェクタータンパク質への化学修飾によるレッドックスシグナリングという新しい概念を紹介し、その研究を進める上での基本的な方法論について解説する。</p>